

エコアクション21環境経営レポート

～この美しい自然環境を未来に～



本社工場近隣の白樺並木と海女センターの風景



長野工場近隣の風景・・・秋の松原湖 / 白駒の池 苔に覆われる原生林 / 馬流から見る千曲川と風景
長野工場近くのJR小海線を走る世界初環境負荷低減をコンセプトにしたハイブリッドシステムディーゼル列車(キハE200形)

【全社サイト：EA21・2017年度版対応】
(期間：2023.5.1～2024.4.30)



認証番号 0004317 登録番号 1535

空電子工業株式会社

発行 2024年7月30日

当社は、“～この美しい自然環境を未来に～”をテーマに地球環境を守る企業活動を続けて行きます。その為に、持続可能な循環型社会を目指して、自社工場内の環境負荷の低減はもとより、環境経営によりよい製品をお客様に提供する活動を推進して地球環境との調和を目指します。

【環境経営方針】

室電子工業株式会社 当社の業であるハーネス関連部品製造において、環境保全への取り組みを最重要課題の一つとして捉え、環境負荷を低減して地球環境の保全並びに環境汚染防止に寄与するため、以下の「環境経営方針」を定め、これに基づいた企業活動を行います。

1. 業務を適正かつ安全に行うために、法律や条例及び利害関係者との同意事項を遵守します。
2. 環境経営管理体制を整備し、環境経営マネジメントシステムの継続的改善に努めます。
3. 環境汚染の未然防止及び環境負荷の削減を図ります。
4. 以下の項目について優先して活動し、環境保全に取り組みます。
 - ・電力量の削減による省エネの推進
 - ・燃料等の削減によりCO₂の削減および資源枯渇等の環境保全啓発活動の実施
 - ・産業廃棄物削減の推進並びに環境対策品(エコ材料)の推進
 - ・化学物質使用量の削減と環境対策品(エコ材料)の推進
 - ・グリーン購入ガイドラインによるグリーン購入の推進
 - ・顧客満足度(CS)の向上
 - ・生物多様性への取り組み検討とSDGsの推進
 - ・長野工場を長野県SDGs推進企業登録、本社工場をきたぎんSDGs経営サポートによる宣言の完了
 - ・環境マネジメントシステムに生産活動を取り込み5s・カイゼン・在庫管理・生産管理等の見える化推進
 - ・働き方改革の推進
5. この環境経営方針に沿って、環境経営に対する目的・目標を定め、見直しを行います。
6. 環境経営方針を全サイト・全社員に周知徹底し、実行します。

本方針は、エコアクション21全体の取組状況を評価し、環境変化に適合するため、定期的に見直しを行い、環境経営レポートとして取りまとめ公表します。



(本社工場)



(長野第1工場)



(長野第2工場)

制定 2006/8/30

改訂 2024/5/1

室電子工業株式会社

代表取締役社長

久慈 正樹

登録事業所の概要



自動機



半自動機



環境対応塗装レス自動機(2007導入)

(1). 事業所名及び代表者

室電子工業株式会社

代表取締役社長 久慈 正樹

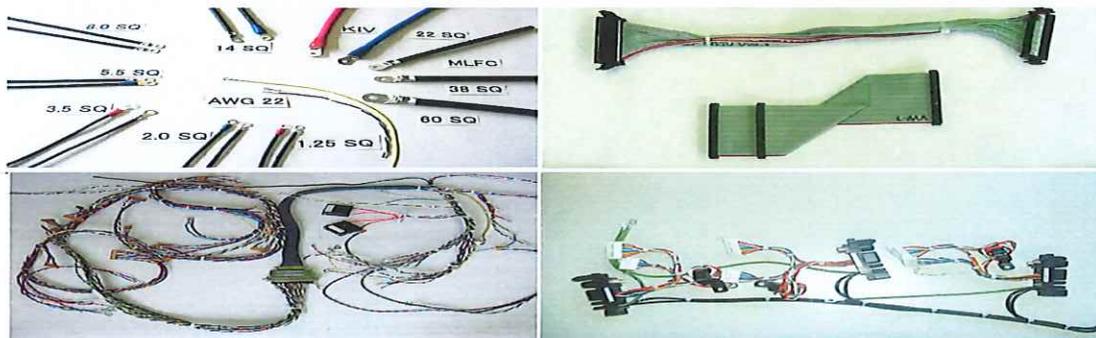
(2). 所在地

本社工場		: 岩手県久慈市長内町第35地割123-25
長野工場	長野第一工場	: 長野県南佐久郡小海町東馬流4063-1
	長野第二工場	: 長野県南佐久郡小海町東馬流2989

(3). 環境保全関係の責任者及び担当者

◎総括環境管理責任者		夏井 守	
○本社工場 : 環境管理責任者		夏井 守	
連絡先	TEL 0194-53-9381		FAX 0194-53-9382
○長野工場 : 環境管理担当者		土屋 修	
連絡先	TEL 0267-92-6211		FAX 0267-92-6212

(4). 事業内容



弊社は、通信機器、パソコン等の内部配線、各種モーターの口出し線の委託加工が生産品の主体でしたが、平成8年より、無停電電源装置、半導体製造装置、太陽光発電装置等のハーネスに重点取り組んでおり本社工場・長野工場ともにULワイヤーリンク・ハーネスを認証をしてお客様のUL要求を満足できる供給体制を整えております。

弊社が培ってきた民生機器配線加工、金型製作、プレス加工のノウハウは、高性能、高信頼性を第一として、とすれば高コストになりがちな産業機器製造の設計製造の現場に於いて、大幅なコストダウンを実現しており、設計の段階からユーザー様に、様々な御提案を致しております。

又、環境問題への取組みと致しましては、2017年度版への移行し、活動を継続しております。平成23年3月の東日本対震災で岩手本社工場が水害被災を受けましたが、同年12月に久慈地区拠点工業団地へ新設工場として復興移転をして従来の工場より更に生産体制を強化いたしました。更に、平成30年11月には岩手本社工場を増築（生産能力1.5倍）してお客様のご要望に対応しております。令和5年度8月より岩手本社工場において太陽光発電を取り入れ、電気代の削減と更なるCO2排出削減を実施し始めております。

今後も多様な分野で必要とされるこれらの機器製造に、常に弊社が参画出来ます様に、一層の専門技術の習得と高品質な製品供給に努力してお客様の満足度の向上を目指します。

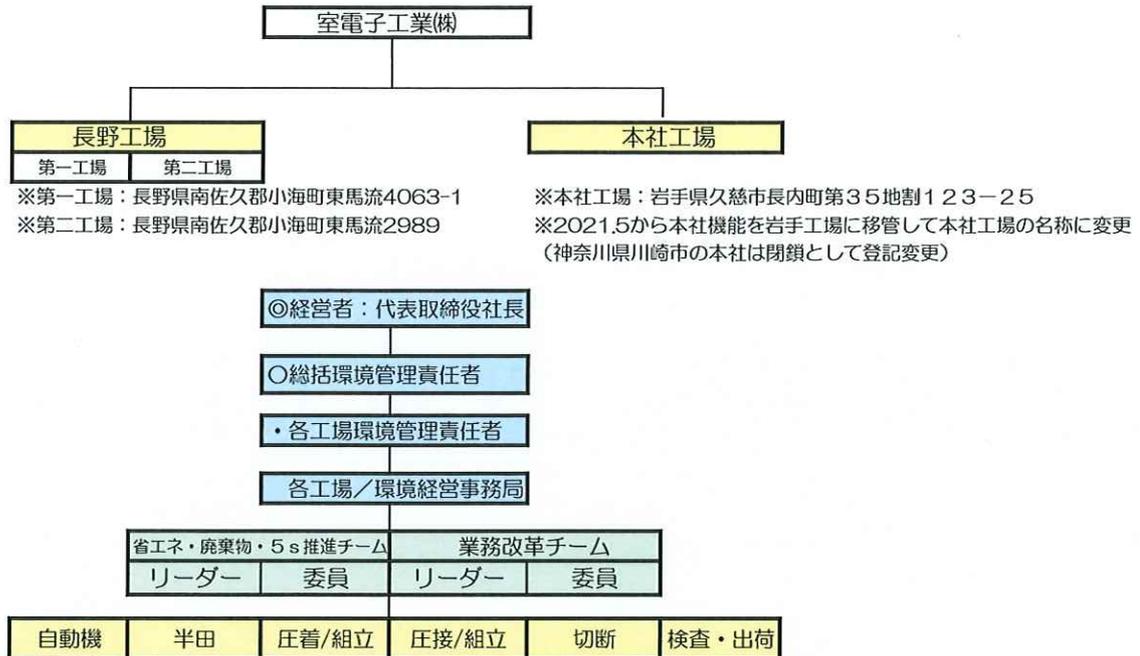
(5). 事業の規模

活動の規模	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高(百万円)	397	441	506	498	400	454	559	556	488
従業員数(人)	66	63	68	73	68	68	71	72	65
延べ床面積(m ²)	1,249	1,249	1,249	1,427	1,427	1,427	1,427	1,427	1,427
敷地面積(m ²)	5,540	5,540	5,540	5,540	5,540	5,540	5,540	5,540	5,540

☆岩手工場増設

☆岩手工場増設

(6). 組織図
(全社)



(7). 沿革

1986年	4月	神奈川県川崎市に資本金100万円にて、室電子工業株式会社を設立
1986年	9月	長野工場開設
1988年	6月	資本金300万円に増資
1992年	1月	岩手工場開設
1995年	12月	資本金1000万円に増資
1996年	4月	半導体製造装置の内部ハーネス開始
1998年	2月	太陽光発電装置の内部ハーネス開始
2004年	11月	岩手工場増築
2006年	2月	長野第2工場開設
2007年	4月	環境対応塗装レス自動機導入(岩手工場)
2007年	6月	岩手工場エコアクション21認証取得
2007年	8月	長野工場(第一・第二)エコアクション21認証取得
2009年	3月	岩手工場ULワイヤーリンク・ハーネス(E327241)認証登録
2009年	10月	本社等を含む全社サイトへ拡大しエコアクション21認証取得
2010年	8月	長野工場ULワイヤーリンク・ハーネス, プロセストワイヤー追加認証登録
2010年	11月	エコアクション21・2009年度版移行認証登録
2011年	3月	東日本大震災により岩手工場水害被災
2011年	6月	岩手県開発公社：久慈地区拠点工業団地に新岩手工場移転協定調印
2011年	12月	新岩手工場：久慈地区拠点工業団地へ移転、翌1月に本操業開始
2014年	4月	本社機能を長野工場に移管(本社/川崎は登記上のみ)
2015年	8月	ホームページ開設
2015年	10月	岩手工場増築
2018年	11月	エコアクション21・2017年度版移行認証登録・岩手工場増築
2020年	5月	岩手工場に本社機能を集約して本社工場に名称変更
2021年	5月	代表取締役に久慈 正樹が就任
2022年	7月	長野第2工場を長野県SDGs推進企業登録制度 第13期に認証登録
2023年	8月	岩手本社工場太陽光発電稼働開始
2024年	3月	岩手工場 きたぎんSDGs経営サポートによるSDGs宣言

□ 環境経営目標と実績 (2023年度)

環境経営システムを全社サイトへ拡大しての目標と実績です。
(対象範囲→本社工場・長野工場を含む全組織)

(1) 今年度目標と実績及び達成状況取り纏め

当社は以下の数値目標を掲げて環境活動を実施する。(活動内容は次ページ参照)

目標:前年度実績に対して3%(電気使用量は0.5%)削減

項目	単位	2017年度実績	2023年度目標	2023年度実績	基準年対比	総合評価	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
年間売上高	百万円	506	562	488	96%	-	430	-	-
CO2排出量	Kg-CO2	68,849	49,472	40,081	58%	達成	38,879	37,712	36,581
購入電力	MJ	642,735	669,904	435,310	68%	達成	433,133	430,968	428,813
灯油使用量	L	4,539	2,457	1,724	38%	達成	1,715	1,664	1,614
車両燃料消費量	L	8,847	6,749	6,609	75%	達成	6,576	6,379	6,187
廃棄物発生量	t	5.0	4.2	3.9	78%	達成	4	4	4
コピー用紙	枚	243,084	245,479	273,151	112%	未達成	271,785	263,632	255,723
工口製品の推進	%	100	※95	100	100%	達成	100	100	100

水及び化学物質については水は生活用水、化学物質は僅かな数量になっていることで、管理項目から監視することにしております。

※二酸化炭素実排出係数 長野工場→中部電力0.379kg-CO2/kWh・本社工場/岩手→東北電力0.476kg-CO2/kWh

排出係数は「温室効果ガス排出量算出・報告・公表制度」の電気事業者別排出係数関連ページ

<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc/denkiより入手し算出>

(2012年度よりCO2排出量は、購入電力会社毎の実排出係数算出方式に変更)

売上高は主要取引先の受注が昨年度から回復せず、目標に届かない結果となりました。
 全社照明関係のLED化は実施され、23年8月からは岩手本社工場のソーラー発電システムの稼働が開始され、購入電力並びにCO2排出量も大幅に削減された結果となりました。
 灯油使用量も前年度より減少する結果となり、こちらでもCO2排出量の削減することが出来ました。
 岩手本社工場のソーラー発電システムから冬場の暖房もエアコンへの比率を更に上げた結果と思えます。
 コピー用紙については客先提出書類が増えたことにより増加してしまいました。
 車両燃料消費も若干の減少となりましたが、売上減少の影響での車両での移動減もあったものと思えます。
 また水については生産設備に使用しておらず手洗い・飲み水・トイレの生活用水のみの為、7年前から管理から監視へと切り替えております。

各項目を年度単位で比較したグラフを次ページに表示

(2) 全体評価と見直し内容

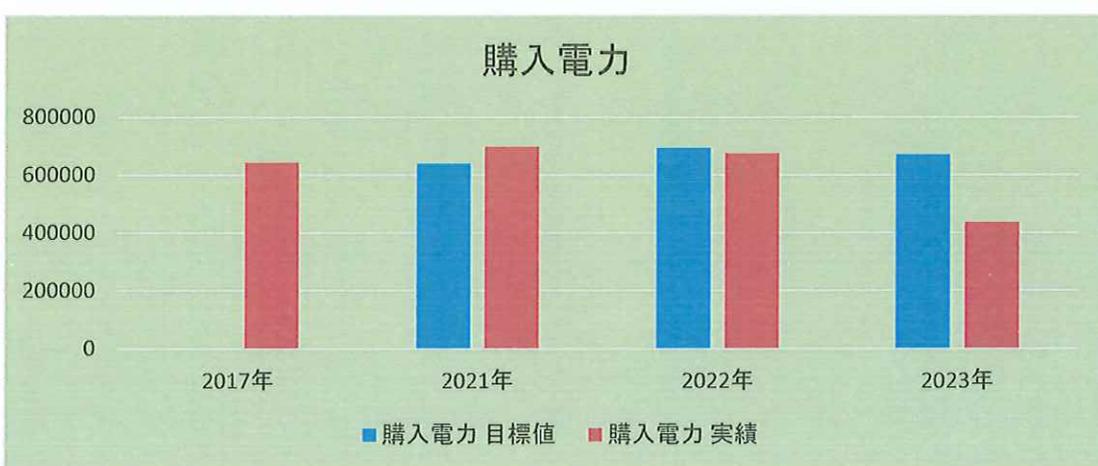
受注落ち込みが継続してしまい、売上も落ち込んでしまった。
 2024年度も回復の兆しも見えてきていない状況となっており、更なる経費削減に取り組んでいくことが必要で、EA21活動からも様々な改善を考えて取り組みたい。
 働き方改革もの推進も継続し、人件費、特に残業時間削減を取り組みたい。
 購入電力に関しては、岩手本社工場のソーラー発電システムの稼働により結果が表れている。
 また、2024年度からは1年分のデータが取れるので、ここでの数値を基に今後の目標設定値を決める。
 2023年12月より、岩手本社工場の購入電力を東北電力から久慈地域エネルギーへ変更し、自然発電での電力購入と岩手本社工場のソーラー発電システムでの余剰電力の購入もしてもらい、地域への貢献も出来ている。
 生物多様性への環境影響にも考慮して行政地域社会と連携して生物多様性保全の為、具体的な取り組みを更に検討していく。
 業務改善チームでの生産管理システムを導入から、工程管理、在庫管理が進み無駄のない在庫管理への取組を継続する。
 廃棄物のリサイクルでは、身障者施設：作業所に分別作業の委託外注を実施して廃棄物削減とマテリアルリサイクルでの有価物化効果が大きく実施でき、社会貢献と経費削減の継続を取り組むこと。
 今後も、更なる具体的な目標・目的の設定と見える化・見せる化の推進をして本来業務をエコアクション21の環境経営マネジメントシステムに取り込みSDGsの検討推進・部会編成も含め全員参加で環境改善を図ります。

□ 環境経営目標と実績 (2023年度)

CO2排出量		単位：Kg-CO2
2023年度目標値	実績	評価
49472	40081	達成



購入電力		単位：KWH
2023年度目標値	実績	評価
669904	435310	達成

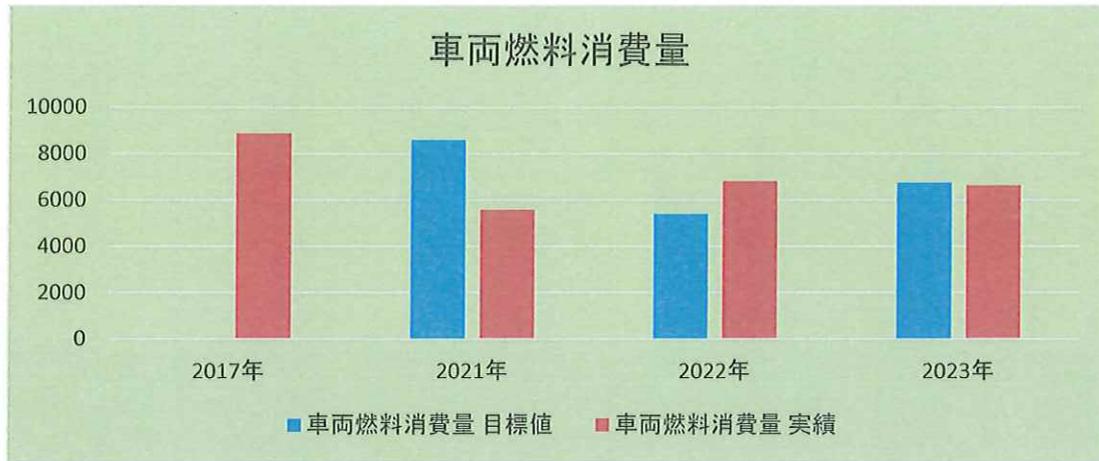


灯油使用量		単位：L
2023年度目標値	実績	評価
2457	1724	達成



□ 環境経営目標と実績 (2023年度)

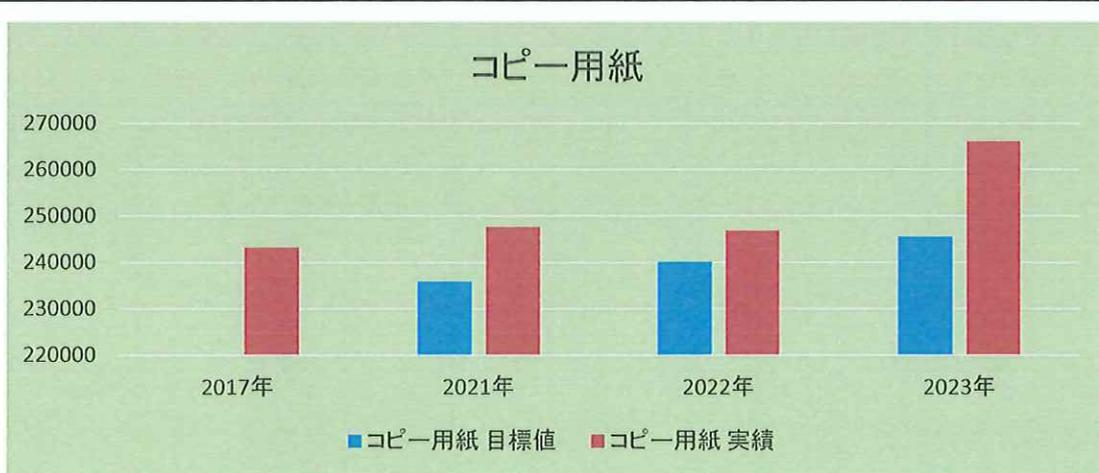
車両燃料消費量	単位：L	
2023年度目標値	実績	評価
6749	6609	達成



廃棄物発生量	単位：T	
2023年度目標値	実績	評価
4.0	3.9	達成



コピー用紙	単位：枚	
2023年度目標値	実績	評価
245479	265925	未達成



□ 環境活動計画の内容

省エネの推進	
取組内容	取組項目
・工場内温度管理	温度計を設置して、冷暖房機器の運転基準の設定と監視(冷房27℃ 暖房23℃)
・遮熱塗料の工事实施	夏季の屋根からの熱を防止して工場内温度を下げる為遮熱塗料に塗り替え実施(長野工場対象)
・スイッチ適正管理	休憩時間の照明スイッチ及びパソコン・設備等の電源OFF
・照明LED化	照明器具のLED化への変更(全社工場実施済み) ⇒ 本社工場作業机照明のLED可
・節電タイプの設備導入	コピー機の省エネ節電タイプ導入
実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> 各取組みが定着している。 夏場の温度管理は猛暑の影響でこの設定温度では作業への影響がある。 	
次年度の取組	
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き各取組みは継続するが、定着していることの確認方法の検討が必要 温度管理の見直しが必要 	

燃料等の削減	
取組内容	取組項目
・車両関係	エコドライブの推進(省エネ運転・アイドリングストップ等) ・エコカーへの切り替え
・灯油関係	暖房機器の運転基準設定による監視、ウォームピズ ・クールピズの推進
実施結果	
<ul style="list-style-type: none"> 車両に関してはエコドライブの呼びかけは継続出来ている。 岩手本社工場では出来るだけエアコンを使用し灯油使用を抑えられた。 	
次年度の取組	
<p>気温に起因することにはなるがこまめな呼び掛けを心掛ける。</p>	

廃棄物の削減	
取組内容	取組項目
・産廃取引業者の見直し	許可証及び有効期限の確認・分別内容の確認により適正業者選定
・分別の徹底	工場内の廃棄物エリア・廃棄物置き場の分別
・リサイクル・リユースの推進	廃棄物の分析によりリサイクル/リユース率の向上
・マニフェスト処理	行政処理から産廃業者へ変更・マニフェストの適正管理
・紙類の削減	両面コピーの実施、FAX通信からパソコンメール通信の推奨
・工場内生ごみの肥料化	お茶殻等の肥料化(長野工場にて肥料化BOX導入)→野菜づくりの肥料
実施結果	
<p>廃棄物関連については例年通り対応が出来ている。 コピー用紙については客先要求分が増えている関係で増加してしまった。</p>	
次年度の取組	
<p>廃棄物関連は引き続き同じ内容での取組を継続。 コピー用紙に関しては新たなアイデアを検討することが必要。</p>	

エコ製品の推進	
取組内容	取組項目
エコ製品の推進	部品材料のRoHS対策品（鉛フリー）の推進とグリーン購入の実施 コピー機更新時に省エネ節電タイプ検討・導入
実施結果	
RoHS対応品は客先要求品以外での対応100%となった。 コピー機は新規での導入は無し。	
次年度の取組	
エコ製品の購入は選ばなくとも省エネタイプやグリーン購入品となっているので、次年度からは取り組みからは除外する方向。	

啓蒙活動	
取組内容	取組項目
啓蒙活動	節電・節水・アイドリングストップ・標語等の表示及び環境掲示板の設置・ポスター掲示
実施結果	
表示類は巡回時での確認が十分にされていない部分もあった。 表示自体は問題無いことで特に問題視されていない面もあった。	
次年度の取組	
チェックリスト等での表示場所や表示物の劣化等、確認する項目を作成し取り組むことを検討する。	

環境保護活動	
取組内容	取組項目
環境保護活動	長野工場近くのJR小海線東馬流駅近くの道路と地域公園の美化清掃の実施（ごみ拾い等） 本社工場周辺の道路清掃と実施（ごみ拾い等）
実施結果	
両工場共にスケジュール通りの実施が出来た。	
次年度の取組	
継続して周辺の環境保護活動を実施する。	

環境活動の見える化	
取組内容	取組項目
環境活動の見える化	環境E A 2 1 掲示板の設置と写真での改善比較の実施
実施結果	
掲示板での表示は出来ているが、活動がわかるような写真が掲示板にはほとんど無く、活動風景があまり伝わらないように思えた。	
次年度の取組	
出来るだけ掲示物には活動内容、風景の写真を取り入れることを心掛けてみる。	

緊急事態訓練	
取組内容	取組項目
緊急事態訓練	灯油流出・火災発生時に備え緊急事態訓練の実施 (隔年で所轄消防署の指導をいただく)
実施結果	
両工場共にスケジュール通りの実施が出来た。	
次年度の取組	
次回は岩手本社工場にて消防署の指導を頂く。	

(前年度緊急事態訓練実施状況風景)

※火災発生時訓練

※灯油流出時訓練

○消火器を使用しての火災消火訓練

○環境管理責任者による流出時の対応手順説明



○消防署のご指導による避難訓練・火災消火訓練



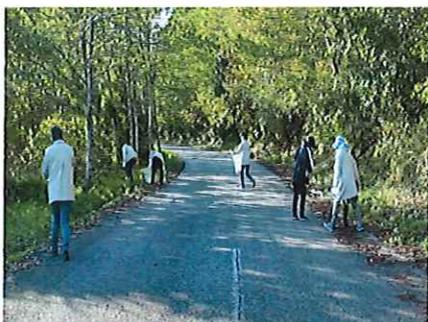
□ 環境関連法の違反・訴訟等の有無

- ①環境関連法規等の違反については、5月開催の環境管理委員会で違反が無いことを確認いたしました。
 (廃棄物処理及び清掃に関する法律・フロン排出抑制法・家電/自動車リサイクル法・消防法・工場所在地環境基本条例の等)
 ②関係行政機関等から特に指摘はなく、訴訟等についても開設時から現在までありませんでした。
 ③近隣地域・住民からの苦情もありませんでした。

名称	法的要求事項等の内容及び基準	評価の結果	判定
廃棄物処理及び清掃に関する法律	・産業廃棄物保管基準の遵守 (産業廃棄物の分別と保管置き場の表示)	保管基準の遵守確認し問題無	○
	・産業廃棄物の収集、処理委託基準の遵守 (許可を受けた廃棄物処理業者との契約)	契約書・許可番号の確認し問題無し	○
	・産業廃棄物管理票による管理 (マニフェストの発行) (マニフェストの返却確認・記録) (マニフェストの5年間保管) ・産業廃棄物排出量報告(岩手県)2008年度より	マニフェストで適正処理確認、問題無し 6月末までに前年度分を行政へ報告済 (久慈合同庁舎)	○
	・野焼き等事業所内焼却の禁止	実施無	○
フロン排出抑制法	第1種特定製品(7.5KW以上対象) 廃棄の場合のフロンの適切な処置	対象外(2.75kw)だが、易点検実施済	○
振動規制法 騒音規制法	振動基準の確認(出力7.5kw以上対象) 騒音基準の確認(出力7.5kw以上対象)	基準値外により対象外	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器の長時間使用と適切な廃棄	今期の廃棄はありませんでした。	○
久慈市環境基本条例	廃棄物の抑制等の環境への負荷の低減その他 環境保全及び創造により循環型社会の構築	事業者の責務について問題無し	○
長野県環境基本条例 <small>(小海町条例は県条例に準ずる)</small>	廃棄物の抑制等の環境への負荷の低減その他 環境保全及び創造により循環型社会の構築	事業者の責務について問題無し	○
自動車リサイクル法	自治体の登録を受けた引取業者への廃車の引渡し義務 (新車購入時又は車検時におけるリサイクル料金の預託)	新車登録、廃車はありませんでした。	○
消防法	容量により消防署に届出の義務(200L以上対象)	対象外にて問題無し	○
浄化槽法	使用開始後3~5ヶ月間に検査の実施 次年度より毎年1回 保守点検(久慈衛生社と委託契約)	定期点検による問題は無し	○
Rohs指令	鉛フリー品への切替・推進	自社リード線・部品100%変更済み 一部客先支給品に鉛含有品あり	○

□ 環境活動取組みの目で見える成果

【環境保護活動】



【工場内外見える化表示による啓蒙】



【廃棄物関係見える化改善】



【ハイブリッド車】



【EA21環境掲示板】

